

令和 7 年 4 月 11 日
海 事 局**第 4 回「自動運航船検討会」を開催します**
～安全基準・検査方法等についての議論を行います～

自動運航船の 2030 年頃までの本格的な商用運航の実現に向けて、昨年 6 月に「自動運航船検討会」を設置し、必要な検討を進めているところです。

今般、第 4 回「自動運航船検討会」を開催し、安全基準・検査方法、システムと人の役割分担についてご議論頂きます。

記

1. 日 時

令和 7 年 4 月 15 日（火）14 時 00 分～16 時 00 分

2. 場 所

中央合同庁舎 3 号館 11 階特別会議室（WEB 併用）

3. 構 成 員

別紙のとおり

4. 議 事

- ・ 自動運航船の安全基準・検査方法
- ・ システムと人の役割分担 等

5. 会議資料等

- ・ 会議資料、議事概要については、後日、国土交通省ホームページに掲載いたします。

国土交通省ホームページ内掲載サイト：

https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_fr7_000046.html

6. 取 材 等

- ・ 報道関係者限り冒頭撮影可能です。入退出に際しては、職員の指示に従っていただきますので、予めご承知をお願いします。
- ・ 撮影を希望される方は、令和 7 年 4 月 14 日（月）14 時までに、以下のとおりメールにてご連絡願います。

件名：【取材希望】第 4 回「自動運航船検討会」

本文：氏名（ふりがな）、所属、連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）

送付先：hqt-mass_mrb★gxb.mlit.go.jp

※送信の際には上記の「★」記号を「@」に置き換えてください。

※取得した個人情報は適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。

【問い合わせ先】 代表番号：03-5253-8111

（安全基準関係）海事局 安全政策課 山崎 直通：03-5253-8631（内線：43-556）

（船舶検査関係）海事局 検査測度課 緑川 直通：03-5253-8639（内線：44-128）

（船員関係）海事局 船員政策課・海技課 杉山、青木 直通：03-5253-8647（内線：45-123、45-312）

（会議全般）海事局 海洋・環境政策課 横川、齊藤 直通：03-5253-8614（内線：43-924、43-934）

自動運航船検討会 構成員名簿

【委員】

藤田 友敬	東京大学大学院法学政治学研究科 教授
野川 忍	学校法人東京女子大学 副理事長
南 健悟	慶応義塾大学法学部法律学科 教授
菊間 千乃	弁護士
清水 悦郎	東京海洋大学学術研究院海洋電子機械工学部門 教授
村井 康二	東京海洋大学学術研究院海事システム工学部門 教授
三輪 誠	神戸大学大学院海事科学研究科 准教授
田村 兼吉	(一財)日本船舶技術研究協会 特別研究員 (元 運輸安全委員会委員)
間島 隆博	(国研)海上・港湾・航空技術研究所海上技術安全研究所 知識・データシステム系長 兼 自動運航船プロジェクトチーム長
巢籠 大司	(独)海技教育機構企画調整部 研究国際課長
石橋 公也	(一財)日本海事協会 技術研究所長
田中 伸一	全日本海員組合 組合長代行
中村 紳也	(一社)日本船長協会 会長
四方 哲郎	(一社)日本船舶機関士協会 会長
平尾 真二	(一社)日本船主協会 海務部長
飯島 直樹	日本内航海運組合総連合会航行安全小委員会 委員長 (N S ユナイテッド内航海運 (株) 常務取締役)
尾形 定行	(一社)日本旅客船協会 工務相談室長
松本 冬樹	(一社)大日本水産会 事業部長
村田 航	(一社)日本造船工業会設計部会 自動運航船 (MASS) 検討チーム長 (三井 E&S 造船 (株) 事業開発部 操船システムグループ 課長
小倉 信好	(一社)日本中小型造船工業会 推薦委員 (向島ドック (株) 取締役)
矮松 一磨	(一社)日本舶用工業会航海計器部会 部会長 (古野電気 (株) 取締役)
久保 治郎	(一社)日本損害保険協会 推薦委員 (東京海上日動火災保険株式会社 フェロー (法規・約款))

【関係事業者・機関】

(公財)日本財団、(株)日本海洋科学、(株)エイトノット、(公財)日本海事センター、
(公社)日本海難防止協会、(一財)日本船舶技術研究協会、(一財)海技振興センター

【関係省庁】

農林水産省水産庁

国土交通省港湾局、海上保安庁

(敬称略、順不同)